

社会福祉法人くるみ会

平成29年度
事業報告

法人本部

障害者自立支援施設くるみ

○自立訓練（生活訓練）

○就労移行支援

○就労継続支援 B 型

地域生活支援センターぽぽろ

○地域活動支援センター（I型）

○精神障がい者地域生活支援事業


○市町村相談支援事業

○指定一般相談支援事業

○指定特定相談支援事業

共同生活援助どんぐり

社会福祉法人くるみ会 所在地 北海道砂川市東5条南4丁目1番2
電話 0125-52-3893



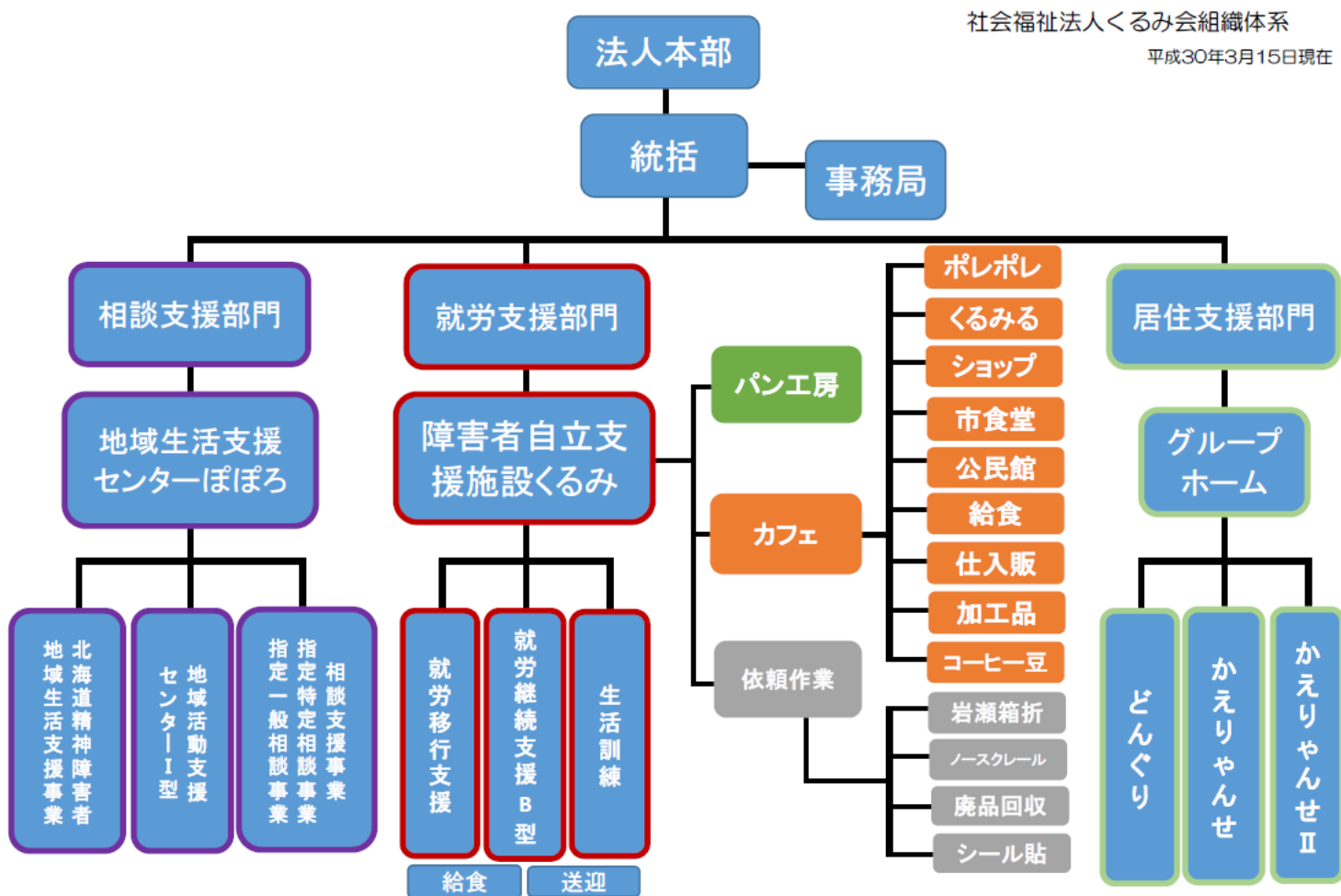
社会福祉法人 くるみ会 平成 29 年度事業報告
目 次

	頁
I. 社会福祉法人くるみ会	1
II. 法人本部	3
III. 障害者自立支援施設くるみ	6
○自立訓練（生活訓練）	7
○就労移行支援	8
○就労継続B型	9
IV. 地域生活支援センターぽぽろ	11
○地域活動支援センター（I型）	11
○精神障がい者地域生活支援事業	12
○市町村相談支援事業	16
○指定一般相談支援事業	17
○指定特定相談支援事業	17
○その他事業及び主な取組み	19
V. 共同生活援助どんぐり	20

I. 社会福祉法人 くるみ会

事業内容

- ・ 障害者自立支援施設くるみ (生活訓練・就労移行支援・就労継続支援 B 型)
- ・ 地域生活支援センターぽぽろ (地域活動支援センターI型、精神障がい者地域生活支援事業 (道委託)、相談支援事業、指定特定相談支援、指定一般相談支援)
- ・ 共同生活援助どんぐり (どんぐり、かえりゃんせ、かえりゃんせII)



平成 29 年度をふりかえって

● 社会福祉法改正の全面施行

平成 29 年度は社会福祉法改正の全面施行に伴い、新定款、並びに新役員（理事、評議員、監査）のもとでスタートしました。法改正の柱のひとつでありました「事業運営の透明性の向上」では、現況報告書、決算計算書類、社会福祉充実残額等について医療福祉機構による電子報告システムへの登録を6月に無事終えることができました。社会福祉充実残額の算定では残額は残りませんでしたが、社会福祉法人の責務として行わなければならない社会貢献事業の取り組みを広く発信していくことが求められています。これについては、カフェ「くるみ」をケアカフェや認知症カフェなど福祉活動に会場提供していることなどを含め、様々な取組を現況報告書等に掲載、PRしていこうと考えています。

● 報酬改定への対応

障害者自立支援法（現障害者総合支援法）が施行されてから 11 年が経過、障害福祉サービスの利用者が 100 万人に達し、国家予算を圧迫しているとの情報が飛び交う中で 30 年度の報酬改定がありました。改定の中身を精査してみますと、サービスの質の向上が求められており、増え続けてきた事業所が淘汰される時代が来たことを実感させられます。そんななかスタッフはいち早く対応に向けた協議を行い、事業に係る人員、設備、運営基準現の遵守を確認し、課題の確認や、事業拡大に向けた検討を行ってきました。就労支援事業についても、業務運営や収支などについて細かくデータを提示して検討会を開いてきました。これからも、利用者に当施設を使って良かったと感じてもらえる施設づくりに、役員、職員一丸となって取り組んでいく所存です。

● 就労移行の推進

障害者の就労支援を行っている「くるみ」では、パンの対面販売やカフェ業務などを通じて接客やその他の就労技能を磨く訓練を行っています。29 年度はグループワークで就労に向けた各自の課題を確認するなどして 7 人の利用者を一般就労に送り出すことができました。就労後に、まるで実家に帰省するかのように笑顔で施設を訪ねてくれる元利用者を目にする喜びは、ひとしおです。今後も一層就労支援に力を入れ、利用者と目標達成の喜びを分かち合いたいと考えています。

Ⅱ. 法人本部

(1) 評議員会・理事会の運営について

評議員会

平成 29 年 6 月 16 日 定時評議員会 くるみ 2 階

第 1 号議案 平成 28 年度事業報告並びに決算計算書類承認の件

第 2 号議案 社会福祉充実残額の算定結果について

第 3 号議案 理事・監事任期満了に伴う選任の件

その他

理事会

平成 29 年 5 月 25 日 理事会 くるみ 2 階

第 1 号議案 平成 28 年度事業報告並びに決算計算書類承認の件

第 2 号議案 社会福祉充実残額の算定結果について

第 3 号議案 砂川市による指導監査の結果報告

第 4 号議案 理事長専決事項報告の件

その他 6 月度定時評議員会の日程について

平成 29 年 6 月 16 日 理事会 くるみ 2 階

第 1 号議案 理事長退任に伴う改選の件

その他

平成 29 年 11 月 27 日 理事会 くるみ 2 階

第 1 号議案 業務中間報告の件

第 2 号議案 監事による監査報告の件

第 3 号議案 理事長専決事項報告の件

その他

平成 30 年 3 月 26 日 理事会 くるみ 2 階

第 1 号議案 平成 30 年度事業計画及び事業予算案承認の件

第 2 号議案 監事による監査報告の件

第 3 号議案 理事長専決事項報告の件

その他 監事監査規程案について

新障害福祉サービス「就労定着支援」の事業所指定について

(2) 監事による監査

平成 29 年 5 月 18 日 28 年度決算監査 実施 くるみ会議室

平成 29 年 7 月 28 日 29 年度第一四半期監査 実施 くるみ会議室

平成 29 年 10 月 25 日 29 年度上半期監査 実施 くるみ会議室

平成 30 年 2 月 9 日 29 年度第三四半期監査 実施 くるみ会議室

(3) 職員・役員研修の充実について

職員のサービスの質の向上並びに日常業務の専門性の向上の為、積極的に研修に参加した。

日付	研修名	場所	参加者
4/21	職員研修（相談支援とは何か）	ぼぼろ	ぼぼろ職員 6名
5/29	職員研修（事例検討 K.Eさん）	ぼぼろ	ぼぼろ職員 6名
5/30	障害支援区分認定調査員研修	岩見沢市	後藤
6/21-23	H29 年度就業支援基礎研修	札幌市	三善
6/23	職員研修（事例検討 T.Hさん）	ぼぼろ	ぼぼろ職員 6名
6/28	砂川地域療育推進協議会研修会	砂川市	田澤・宮本
7/3-4	相談支援従事者研修（基礎研修）	札幌市	後藤
7/4	H29 年度社会福祉法人経営者セミナー	札幌市	茅野（和）
7/26	地域移行研修会	砂川市	ぼぼろ職員 4名
7/31	職員研修（事例検討 T.Yさん）	ぼぼろ	ぼぼろ職員 6名
8/30	H29 年度砂川市高齢者及び 障害者虐待防止連絡協議会	砂川市	茅野（和）
9/13	第 2 回中空知圏域障がい者 地域生活移行支援協議会	砂川市	岡本
9/13-15	相談支援従事者研修（基礎研修）	札幌市	後藤
9/27-29	全道ピアサポーター研修会	札幌市	田澤
9/29	職員研修（個別支援と面接技術）	ぼぼろ	ぼぼろ職員 6名
10/13	北精社協職員研修会	札幌市	初瀬尾・渡邊
10/18	製品制作・技術研修会 ～表示に係るコンプライアンスセミナー～	札幌市	今野
10/26	就業支援実践研修	札幌市	横田
10/26-27	H29 年度北海道・東北ブロックセミナー	札幌市	茅野（和）
10/30	感染症予防対策研修会	滝川市	片山（順）
11/2	第 1 回医療観察制度地域連絡協議会	札幌市	田澤
11/7	北海道食品製造業 食品表示セミナー	札幌市	今野
11/8	砂川市社会福祉大会	砂川市	茅野（和）
11/8	H29 年度 苦情解決システム研修会	札幌市	片山（順）
11/9	H29 年度 指定障害福祉サービス事業所 集団指導	岩見沢市	片山（豊） 片山（順）
11/9-10	地域移行エリア別研修会	札幌市	田澤・宮本
11/15	感染症予防対策 施設内研修	くるみ	くるみ職員 10名
12/5	自殺対策関係者学習会	滝川市	初瀬尾・渡邊
12/6	社会保険事務講習会	砂川市	片山（順）
12/6-8	H29 北海道サービス管理責任者研修（第 4 分野）	札幌市	今野

12/11	第3回中空知圏域障がい者 地域生活移行支援協議会	砂川市	岡本
1/25	原料原産地制度 事業者向けマニュアルの活用に関するセミナー	札幌市	今野
2/5	高次脳機能障害学習会	滝川市	田澤・宮本
2/14-16	H29 北海道サービス管理責任者研修（第3分野）	札幌市	片山（順）
2/15	H29 年度社会福祉法人経営実務セミナー	札幌市	茅野（和）
2/19-20	H29 相談支援従事者研修	札幌市	片山（順）
2/21	第4回中空知圏域障がい者 地域生活移行支援協議会	砂川市	岡本
2/23	第2回チームSUNAGAWA農商工団結セミナー	砂川市	片山（順）
3/2	H29 社会福祉法人会計実務者決算・財務分析講座	札幌市	茅野（和） 片山（順）
3/3-4	こころのピアサポートフォーラム	札幌市	宮本
3/8	訪日外国人(インバウンド)事業者向けセミナー	砂川市	茅野（和） 片山（順）
3/19	地域における広域的な取組を考えるフォーラム	札幌市	茅野（和）

（４）平成30年度障害福祉サービス等報酬改定に伴う対応

平成30年4月より報酬改定に伴い、必要部署ごとに会議を設け、報酬改定の勉強会及び次年度の対応策の検討を行った。

（５）非常災害対策計画の策定

平成30年1月1日より非常災害対策計画を施行し、緊急時の対策計画を見直した。

Ⅲ. 障害者自立支援施設くるみ

事業内容

多機能型訓練施設

- ・生活訓練（定員 6 名）
- ・就労移行支援（定員 12 名）
- ・就労継続支援 B 型（定員 20 名）

職員

管理者（施設長）	常勤 1 名（兼務）
サービス管理責任者	常勤 1 名（専従）
就労支援員	常勤 1 名（専従）
生活支援員	常勤 3 名（専従）
目標工賃達成指導員	常勤 1 名（専従）
職業指導員	常勤 3 名（専従）
職業指導員	非常勤 7 名（専従）
給食調理員	常勤 1 名（専従）
給食調理員	非常勤 1 名（専従）
送迎職員	非常勤 2 名（専従）

一日の流れ（月～金）

- 8：45 ラジオ体操
- 9：00 朝のミーティング（朝の体調確認、作業配置確認、連絡事項等）
作業（10分休憩あり）
- 11：50 片付け
- 12：00 昼食
- 13：00 作業（10分休憩あり）
- 14：40 片付け・掃除
- 15：00 帰りのミーティング（作業報告、連絡事項等）

送迎

滝川・歌志内・上砂川・奈井江・市内の送迎体制で対応を行った。

非常勤職員 2 名とシルバー人材センターからの派遣スタッフにより朝夕の送迎体制を構築。

行事

日付	行事名	場所	参加者数（利用者）
4/28	花見	滝川市グルメファクトリー	47 名（28 名）
8/20～8/21	研修旅行	羽幌 宿泊先：羽幌温泉サンセットプラザ	36 名（23 名）
10/14	ワイワイ祭	自立支援センター	41 名（22 名）
12/12	クリスマス会	砂川交流センターゆう	57 名（28 名）

スタッフミーティング

業務運営会議	週1回	支援会議	週1回
事業戦略会議	不定期	カフェ職員会議	不定期（2回開催）
パン販売会議	随時	パン工房職員会議	不定期（1回開催）

平成29年度実績

- ・社会実験として、夏の花火大会及び冬のワカサギ釣りシーズンに、オアシスパーク遊水地管理棟内で販売を行った。
- ・全道アビリンピック大会に、2名出場（ワードプロセッサ部門1名、喫茶サービス部門1名）。ワードプロセッサ部門で最優秀賞（1位）を受賞。全国大会（沖縄）への出場権を獲得。
- ・昨年最優秀賞に輝いた3名と全国アビリンピック大会（栃木県）に参加。喫茶サービス部門で銀賞（全国2位）受賞。
- ・依頼作業で、カップの菓子詰めの新たな作業を受注。平成30年4月以降からの生産を開始。
- ・一般就労の実績はくるみ全体で7名。

○自立訓練（生活訓練）

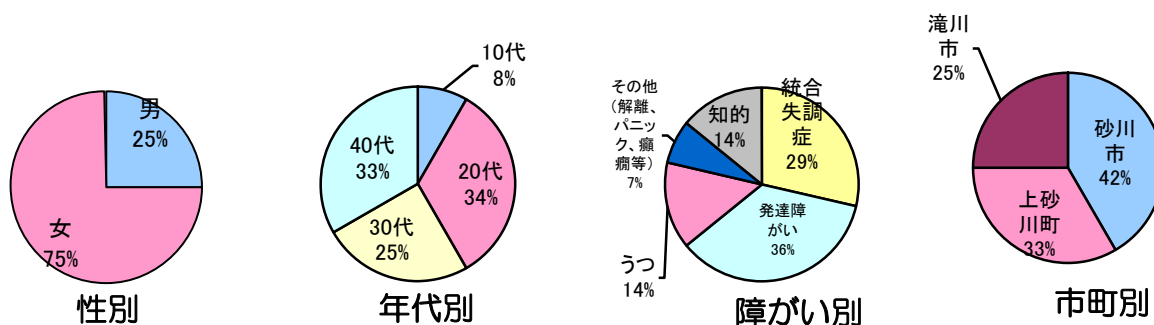
事業目的

利用者が充実した地域・社会生活を営めるよう、利用者の心身の状態に応じた必要な支援訓練を行う。また、障害の特性や適性などを配慮した生産活動を実施することで、利用者の社会参加と自立の援助を行う。

平成29年度実績 H29年度 3月31日現在（前年度比）

- (1) 利用者数 実人数：12名（±0） 延人数：956名(-282名)
1日平均利用者数：3.6名（-1.0名）

(2) 利用者の状況



(3) 特徴

- ・男女比率は、女性の割合が多い。
- ・年齢層は20代～40代が90%。
- ・発達障害、統合失調症の割合が多い。

(4) 事業効果・評価

- ・一般就労できた人数：1名

- 施設内での洗濯、清掃作業をプログラムに取り入れることで、生活に必要な技能の修得につながられた。
- 生活リズムを整え通所リズムができた利用者については、接客業務やパンの製造業務の作業の体験を行った。その結果、就労意欲の向上につながった。

○就労移行支援

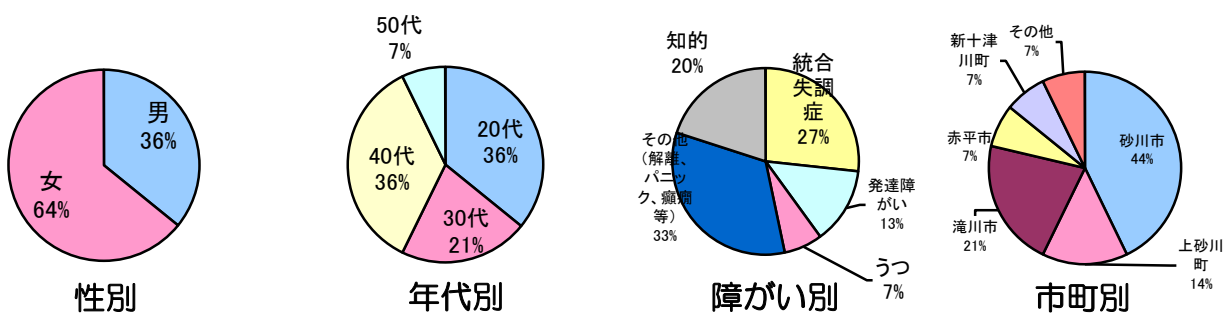
事業目的

施設内での生産活動や企業での実習を通して、一般就労に必要な知識、能力を養い、適性にあった職場に就労し、定着していくことを目的とした指導・訓練を行う。また、公共職業安定所での求職登録など、関係機関と連携しながら就労活動の支援を行う。

平成 29 年度実績 H29 年度 3 月 31 日現在（前年度比）

- (1) 利用者数 実人数：14 名 (-2 名) 延人数：1,930 名 (-264 名)
1 日平均利用者数：7.2 名 (-1.0 名)

(2) 利用者の状況



(3) 特徴

- 男女比率は女性が多い傾向にある。
- 他のサービスと比べ、就労意欲が高い20代、30代の利用者が多い。
- 利用者の障害は多種多様。
- 知的障害の割合も増加傾向にある。

(4) 事業効果・評価

- 一般就労できた人数：3名
- ハローワークへ同行し求職情報の収集を行い、利用者の就労意識の継続・向上へ取り組んだ。
- 就労移行のグループワークを開催し、利用者間で学ぶ機会を取り入れることができた。

回	開催日	出席者	グループワーク内容
1	2/5	11	グループ討議 テーマ「私にとって働くということ」
2	3/5	10	ロールプレイング a) 金銭授受の際の困ったこと b) 電話でのクレーム対応

くるみ（就労移行／就労継続B型）

- ・面接のシミュレーションを行い、面接時の対応方法の支援を行った。
- ・定着支援として、くるみ退所後も本人や就労先と連絡を取り、面談を継続している。
- ・ハローワークや職業センター等と連携し、本人の障がい特性や配慮が必要な点などを就労先に伝え、就労環境の向上に努めることができた。
- ・医療機関、相談支援事業所と連携を取り病状を確認しながら就労へ結び付けられるよう情報収集を行っている。

○就労継続支援B型

事業目的

一般の事業所等に雇用されることが困難な利用者に対して、就労や生産活動の機会を提供し、日頃の作業を通して社会の一員として充実した日常生活を営むことが出来るよう、自立に向けた支援を行う。

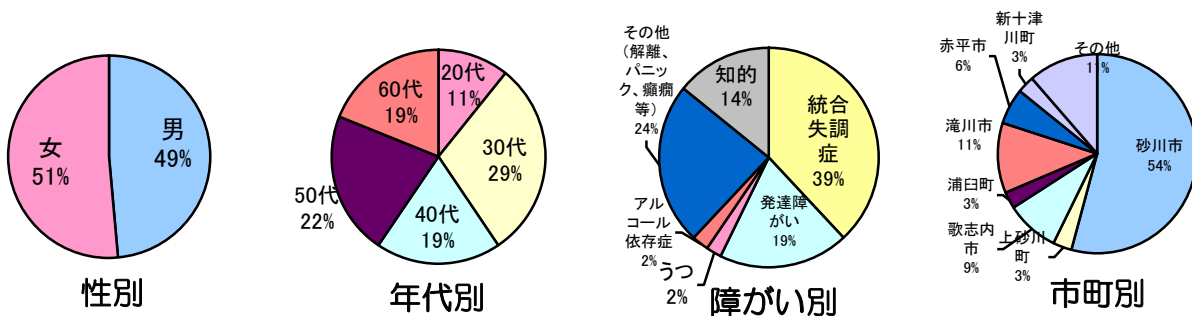
作業内容

パンの製造、出張販売・イベント販売、喫茶店の接客・調理・コーヒー落し、カレー等の仕込み・パック詰め、他企業からの依頼作業、コーヒー豆のピッキング・販売、みそこし・パック詰め、クラフト製品の製造・販売等

平成 29 年度実績 H29 年度 3 月 31 日現在（前年度比）

- (1) 利用者数 実人数：37 名 (-3 名) 延人数：5,274 名 (-611 名)
1 日平均利用者数：19.7 名 (-2.2 名)

(2) 利用者の状況



(3) 特徴

- ・施設利用が長い50代以上の利用者については、健康面での管理や配慮が必要になってきている。
- ・砂川市内の利用者が多い。
- ・入退院を繰り返す利用者や病気等で体調を崩す利用者が目立った。特に50代以降の利用者が体調不良で入院となるケースや自宅療養のため長期欠席することが目立った。

(4) 事業効果・評価

- ・一般就労できた人数：3名
- ・作業を通し、協調性や思いやりの心を持てるよう対人関係の作り方を学ぶことができています。
- ・利用者の能力・体調に合わせた作業配置を心掛け、一人一人に寄り添いながら支援を行った。その結果、やりがいをもって作業に取り組むことができています。
- ・イベント販売 砂川市、滝川市、上砂川町、浦臼町、奈井江町、赤平、岩見沢、札幌他

H29年度 販売管理表

	パン	カフェ										合計	依頼作業	合計	
		ポレポレ	くろみる	ショップ	クラフト	くろみ食堂	公民館カフェ	給食	仕入販売	加工品	コーヒー				合計
4月	売上	1,478,288	72,620	279,160	0	3,165	237,520	180,090	27,800	700	5,500	32,430	838,985	9,822	2,327,095
	仕入	2,501	-25	69,088	0	1,865	96,491	73,927	-122,974	-1,170	-1,000	-24,846	91,356	324	94,181
	差額	1,475,787	72,645	210,072	0	1,300	141,029	106,163	150,774	1,870	6,500	57,276	747,629	9,498	2,232,914
5月	売上	1,532,646	262,480	295,870	3,722	11,795	229,370	163,760	105,850	99,050	6,600	46,410	1,224,907	119,762	2,877,315
	仕入	596,809	76,597	101,379	0	3,789	89,844	82,198	62,084	34,031	-716	38,597	487,803	5,773	1,090,385
	差額	935,837	185,883	194,491	3,722	8,006	139,526	81,562	43,766	65,019	7,316	7,813	737,104	113,989	1,786,930
6月	売上	1,702,247	206,050	297,270	5,260	11,155	264,400	179,790	137,780	2,130	13,200	34,690	1,151,725	140,942	2,994,914
	仕入	499,261	40,447	126,414	0	0	118,574	87,689	134,346	36,545	-1,000	11,754	554,769	216	1,054,246
	差額	1,202,986	165,603	170,856	5,260	11,155	145,826	92,101	3,434	-34,415	14,200	22,936	596,956	140,726	1,940,668
7月	売上	1,614,945	197,630	316,820	6,904	3,985	331,750	154,970	190,850	221,780	9,900	29,190	1,463,779	99,341	3,178,065
	仕入	511,487	8,791	130,579	0	0	171,022	71,077	93,344	119,406	-1,250	83,288	676,257	4,813	1,192,557
	差額	1,103,458	188,839	186,241	6,904	3,985	160,728	83,893	97,506	102,374	11,150	-54,098	787,522	94,528	1,985,508
8月	売上	1,771,864	102,880	342,300	4,515	14,055	313,830	168,980	90,240	68,080	6,600	46,090	1,157,570	147,913	3,077,347
	仕入	634,237	25,902	131,579	0	0	139,828	81,238	39,489	-975	-1,000	-22,738	393,323	1,944	1,029,504
	差額	1,137,627	76,978	210,721	4,515	14,055	174,002	87,742	50,751	69,055	7,600	68,828	764,247	145,969	2,047,843
9月	売上	1,797,313	193,940	278,960	9,120	4,880	338,250	149,810	136,000	22,400	7,150	26,530	1,167,040	155,021	3,119,374
	仕入	563,726	59,516	128,492	0	0	165,034	64,363	79,180	22,311	-1,250	32,250	549,896	324	1,113,946
	差額	1,233,587	134,424	150,468	9,120	4,880	173,216	85,447	56,820	89	8,400	-5,720	617,144	154,697	2,005,428
10月	売上	1,812,782	234,660	284,430	7,115	4,325	274,420	145,000	136,410	100,580	14,700	32,100	1,233,740	126,036	3,172,558
	仕入	550,048	42,099	103,266	0	2,000	111,194	67,010	71,120	172,321	-2,000	40,847	607,857	0	1,157,905
	差額	1,262,734	192,561	181,164	7,115	2,325	163,226	77,990	65,290	-71,741	16,700	-8,747	625,883	126,036	2,014,653
11月	売上	1,641,987	168,110	205,750	6,623	4,960	251,930	147,850	143,000	40,840	1,650	51,030	1,021,743	88,097	2,751,827
	仕入	682,934	19,413	152,886	0	0	145,265	68,881	100,221	5,325	-1,500	42,597	533,088	0	1,216,022
	差額	959,053	148,697	52,864	6,623	4,960	106,665	78,969	42,779	35,515	3,150	8,433	488,655	88,097	1,535,805
12月	売上	1,725,807	72,000	146,690	3,855	2,100	264,730	164,720	35,940	53,086	7,700	24,250	775,071	82,494	2,583,372
	仕入	524,337	5,350	57,466	0	216	117,025	81,595	39,826	34,757	-216	32,235	368,254	324	892,915
	差額	1,201,470	66,650	89,224	3,855	1,884	147,705	83,125	-3,886	18,329	7,916	-7,985	406,817	82,170	1,690,457
1月	売上	1,621,227	114,340	158,090	3,989	500	288,080	146,400	121,720	47,560	9,900	20,470	910,689	49,120	2,581,036
	仕入	694,960	40,071	69,489	0	0	172,079	73,970	32,821	33,832	-750	33,735	455,247	0	1,150,207
	差額	926,267	74,269	88,601	3,989	500	116,001	72,070	88,899	13,728	10,650	-13,265	455,442	49,120	1,430,829
2月	売上	1,753,021	96,550	210,320	3,672	4,300	270,150	161,460	149,040	33,560	3,300	29,970	962,322	65,766	2,781,109
	仕入	419,719	12,671	143,148	0	874	168,942	82,552	169,920	43,221	-1,500	13,426	633,254	0	1,052,973
	差額	1,333,302	83,879	67,172	3,672	3,426	101,208	78,908	-20,880	-9,661	4,800	16,544	329,068	65,766	1,728,136
3月	売上	2,031,479	81,560	245,590	10,287	1,800	334,980	165,940	52,560	38,460	4,950	32,910	969,037	122,658	3,123,174
	仕入	1,214,418	13,374	146,562	0	0	213,959	80,071	227,943	44,724	-1,250	83,553	808,936	0	2,023,354
	差額	817,061	68,186	99,028	10,287	1,800	121,021	85,869	-175,383	-6,264	6,200	-50,643	160,101	122,658	1,099,820
合計	売上	20,483,606	1,802,820	3,061,250	65,062	67,020	3,399,410	1,928,410	1,327,190	728,226	91,150	406,070	12,876,608	1,206,972	34,567,186
	仕入	6,894,437	344,206	1,360,348	0	8,744	1,709,257	914,571	927,320	544,328	-13,432	364,698	6,160,040	13,718	13,068,195
	差額	13,589,169	1,458,614	1,700,902	65,062	58,276	1,690,153	399,870	183,898	104,582	41,372	6,716,568	1,193,254	1,193,254	21,498,991

IV. 地域生活支援センターぽぽろ

事業内容

地域活動支援センター

精神障がい者地域生活支援事業（中空知圏域）（北海道委託）

相談支援事業

- ・市町村相談支援事業（市町委託 4 市 3 町）
- ・指定特定相談支援事業
- ・指定一般相談支援事業

職員

施設長（センター長）常勤 1 名（専従）

相談支援従事者 常勤 3 名（専従）

保健士 非常勤 1 名（専従）

看護師 非常勤 1 名（兼務）

○地域活動支援センター事業（I型）

事業目的

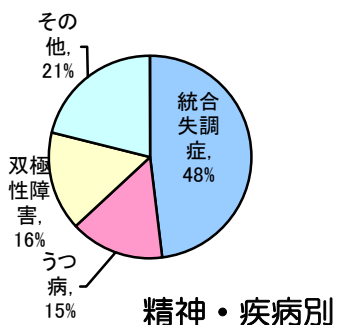
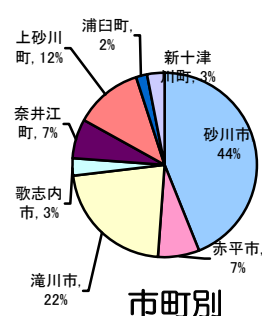
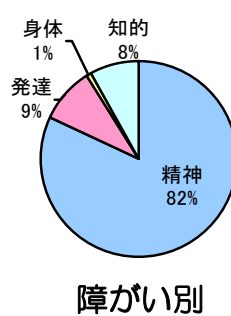
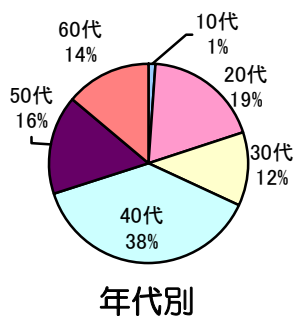
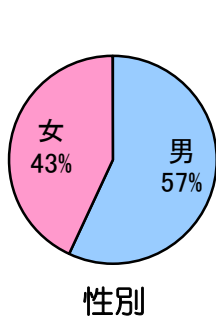
病気や障害を抱えながら地域で生活している人に日中活動の場を提供する。

また、地域住民等に障害の理解を深める普及啓発活動を行う。

平成 29 年度実績

（1）利用者数 実人数：98 名 延人数：4,437 名 1日の平均利用者数：19 名

（2）利用者の状況



新規利用者 20 名

身体障害者	1 名	知的障害者	1 名
統合失調症	3 名	うつ病	5 名
双極性障害	6 名	その他	4 名

(3) 特徴

- 性別では男性、年代別では 40 代の利用者が多い。
- 昨年と比べ、知的障害をもつ利用者の割合が増加した。
- 新規利用者 20 名のうち、うつ病・双極性障害の気分障害が半数を占めている。

(4) 事業内容・評価

社会参加や日常生活向上を図ることを目的に、次のことを実施した。

目的	プログラミング	評価
コミュニケーション能力を高める	ミーティング 語ろう会	自分のことを語る、他社話を聴くを通して、コミュニケーション能力の向上を図った。
社会性と自主性を養う	季節の行事・創作活動 ランチタイム サークル活動	集団活動を通して、社会規範を身につけ、仲間づくりを推進する場となっている。
自分の病気や障がいの認識を深める	当事者研究 研修会への参加	生活する上での課題を検討すること、他者の経験を聴くを通して、自分の病気や障がいについて振り返る場となっている。
健康を増進する。	軽スポーツ・歩こう会 料理教室・健康講座	身体を動かすことや食生活など健康に対する意識が高まった。
障がい理解の普及啓発をすすめる。	ぼぼろフェスティバル 移動サテライトの実施 各市町、精神科病院にポスターを掲示依頼 広報誌を作成	地域住民や関係機関に対し、地域活動支援センターの活動内容と障がい理解を深める活動を行うことができた。

○精神障がい者地域生活支援事業（中空知圏域）

事業目的

- (1) 精神障がい者が暮らしやすい地域づくりの推進。
- (2) 精神障がい者が安心して、安全に暮らせる支援ネットワーク構築。
- (3) 長期入院者の地域移行・地域定着を支援。

平成 29 年度実績

【地域生活移行支援協議会の開催】

- (1) 構成 23 機関 37 名
 - 精神科病院 7 か所、障がい者支援施設 3 か所、中空知圏域 5 市 5 町、地域生活支援センターあーち、滝川保健所

(2) 開催状況（延べ 123 名）

回	開催日	出席者	内容
1	6/16	31	○ワークショップ テーマ「地域移行・定着支援の広報活動について」

2	9/13	27	○事例検討 テーマ「社会資源が少ない地域に退院を希望している長期入院者の夢をかなえるために何をしたらよいか」 ・事例紹介 ・グループワーク
3	12/11	29	○グループ討議 テーマ「障がい者の権利擁護を考える」 ・説明 ・事例報告「権利侵害 自分の経験から」 報告者 谷井智也 ・グループ討議
4	2/21	36	○パネルディスカッション テーマ「約 30 年間入院していた A さんの地域移行支援」 ・パネルディスカッション 滝川中央病院 精神保健福祉士 丸山 恭寛 氏 滝川中央病院 看護師 小林 梢 氏 自立支援施設くるみ GH 管理責任者 岡本 澄子 砂川市社会福祉協議会 主任 工藤 真史 氏 地域生活支援センターぽぼろ ピアサポーター 菅谷 昭則 地域生活支援センターぽぼろ 主幹 田澤 智晴 ・グループ討議

(3) 事業効果

- ・協議会で各市町村の精神障がい者に対する現状や問題を共有し、中空知圏域の地域課題として検討を進めることができた。
- ・昨年度に比べて医療機関や福祉サービス事業所の出席が減少し、市町村等行政関係者の出席に増加の傾向が見られた。

【地域移行・定着支援の実施】

(1) 対象者 1 名（通算入院期間 30 年）

(2) 支援内容（平成 29 年 4 月～平成 29 年 8 月）

項目	実施回数	内容
定期面談	週 1 回、計 26 回	・状況把握 ・金銭管理 ・今後の予定や心配事の解消 (生活リズムの乱れ、過食、生活技術の習得、コミュニケーション技術の習得、夜尿など) ・退院後の生活のイメージづくりなど
関係者会議 個別支援会議	3 回	・服薬調整や自己管理指導 ・水分調整、夜尿の対処 ・退院に向けて計画的な貯蓄と金銭管理 ・退院後の居住先の選択
同行支援	20 回（週 1～2 回）	・交通機関の利用 ・食品や日用品の買い物など

(3) 事業効果

- ・退院の前に地域移行支援の期間は終了しましたが、その後も支援を続け、3回グループホーム体験入居(1泊・2泊・3泊)の後に、平成29年12月地域生活へと移行した。

【精神科医療機関・関係機関の連携強化】

(1) 実施状況

- ・市町村や医療機関など関係機関を訪問し、事業概要等の説明や周知を行った。
- ・移動サテライト(赤平、浦臼)を実施し、関係者や地域住民へ精神障害の認識を深めた。
- ・入院者の退院に向けた退院支援委員会(実人数7名)に参画し、退院後の在宅支援を検討した。
- ・退院後生活環境相談員との連携をすすめた。
- ・日常生活自立支援事業を活用し社会福祉協議会と連携をして対象者の金銭管理を実施した。

(2) 事業効果

- ・研修や事例検討を通じて他機関同士の連携が深まった。
- ・退院及び在宅支援への総合的なネットワークが作りやすくなった。

【ピアサポーターの育成】

(1) 活動状況

- ・研修への参加

開催日	研修名 開催場所	内 容
第2・4金曜日	定例研修会 地域生活支援 センターぽぼろ	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアサポーター活動の企画運営評価 ・同行支援に関する情報共有や打ち合わせ、振返り等
6/29	全道ピアサポート 研修企画委員会 こころのリカバリー 総合支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・全道ピアサポート研修会について日時・場所・内容に関する打合せ
7/26	地域移行研修会 砂川市 総合福祉センター	<p>①話題提供 テーマ「改めてピアサポートの可能性を考える」 発表者 北海道ピアサポート協会 代表理事 矢部 滋也 氏</p> <p>②グループワーク テーマ「今、あらためてピアサポートを考える」</p>
9/27~29	全道ピアサポート 研修会 札幌市教育	<p>①実践報告 テーマ「他県の地域移行ピアサポーター活動に学ぶ ～洲本市(兵庫県)のピアサポーターの実践」</p> <p>②グループワーク</p>

	文化会館	<p>テーマ「日頃のピアサポート活動について話し合おう」 「事例検討」等</p> <p>③シンポジウム テーマ「ピアサポートの未来～地域移行が終わったとしても～」</p>
11/9～10	<p>地域移行エリア別 研修会</p> <p>札幌市 かでの2・7</p>	<p>①講義 テーマ「地域を活性化するためのファシリテーション技術」</p> <p>②報告 テーマ「圏域ごとに取り組むアイデアのヒント ～ピアサポーター活動等各圏域の活動ピックアップ～」</p> <p>③演習 テーマ「圏域ごとで取り組みの振り返り課題整理」 「圏域をまぜてアイデアだし」 「職種別話し合い」 「根づく仕組みづくりについての検討・ロードマップの再検討」</p>
3/3～4	<p>こころのピアサポート フォーラム</p> <p>北星学園大学</p>	<p>①基調講演 テーマ「交差点（フォーラム） ～私との繋がり、それぞれの未来へ～」</p> <p>②分科会</p> <p>③パネルディスカッション テーマ「本音でトーク！～配慮ってなあに？～」</p>

・体験発表

日時	名称	開催場所	発表者
8/22	移動サテライト 浦臼	浦臼町寄り道サロン	谷井智也・福原洋子
9/12	移動サテライト 赤平	赤平市コミュニティーセンター別館	谷井智也・福原洋子
10/14	北海道PTA 連合会ブロック連絡会	浦臼町立浦臼中学校	谷井智也
10/28	奈井江町障害福祉フォーラム	奈井江町交流プラザ みなクル	福原洋子

(3) 事業効果

- ・ピアサポート活動の在り方について振り返り、検討することができた。
- ・体験発表を通して自分の病気について理解を深めることができました。

○市町村相談支援事業（4市3町委託）

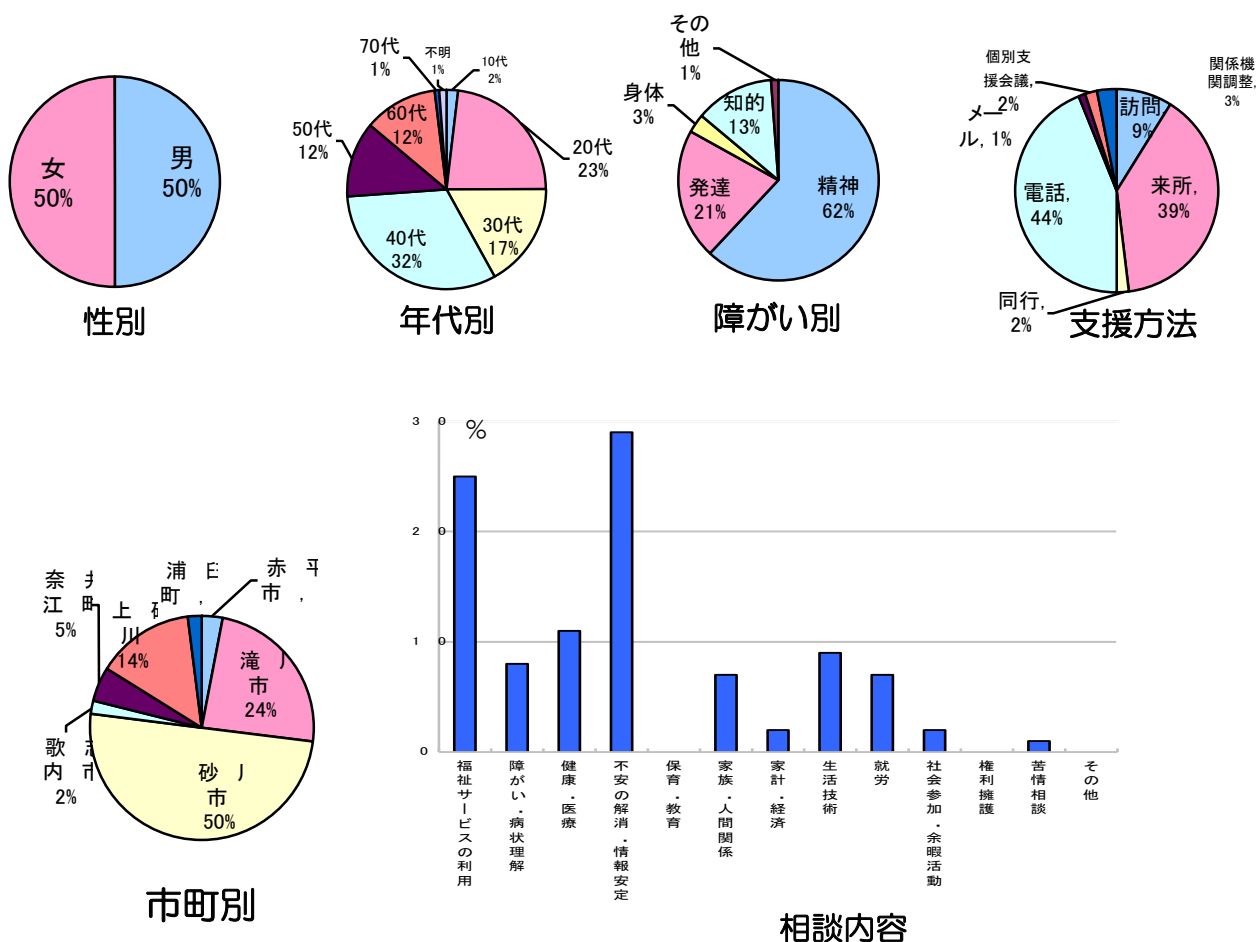
事業目的

- ・中空知圏在住の障がい者及びこころの悩みを抱えている人たちの相談に応じ課題解決を目指す。

平成29年度実績

（1）相談人数 延人数：1,032人（前年度1101人） 実人数：155人（前年度135人）

（2）利用者の状況



（3）特徴

- ・相談者を障がい別で見ると6割が精神障がい者で、年代別は40代が多い。
- ・家族の死去や入院などにより、急に一人暮らしになる等生活全般に支援が必要になる方が4名いた。
- ・家族全員に支援が必要な方、複数の病気を抱えている方など難治性の高い相談が増加し個別支援会議や関係者会議を開催した。
- ・電話相談が前年度33%から10%増加しているのは、生活・病状・就労への不安を持っている数名の方が頻回に電話相談を利用した為。

（4）事業効果

- ・精神だけでなく、身体、知的など障がいのある方の相談窓口として地域に定着している。
- ・必要に応じて各関係機関との個別支援会議や関係者会議を開催し支援体制を整えていくことができた。

○指定一般相談支援事業

事業目的

- ・施設入所や入院中で地域移行が可能な障がい者の地域移行・地域定着支援を行う。

平成29年度実績

(1) 実施状況 1件（地域移行1件）

利用者	年代・性別 疾患名	支援期間	今回入院期間 通算入院期間	現在の状況
A氏	40代・男性 統合失調症 知的障がい	5か月	今回 17年 通算 30年	退院 GH入居

- ・ケアマネジメント手法を用いて、本人の意向を反映したケアプランを作成し、個別支援会議や関係者会議を開催して、多角的な支援を実施した。
- ・精神障がい者地域生活支援事業で委嘱されているピアサポーターを活用して、支援を行った。

(2) 事業効果

- ・A氏への支援はGHの空きがなく、指定一般相談の期間は退院の前に終了した。しかしその後も支援を続け、平成29年12月に退院しGHに入居した。
- ・医療機関と地域で支援チームを作り些細なことでも話し合い連携ができた。
- ・関係者会議、個別支援会議を定例化して医師や本人も含めて支援内容を検討し実施することができた。
- ・ピアサポーターを導入して退院後の仲間づくりができた。

○指定特定相談支援事業

事業目的

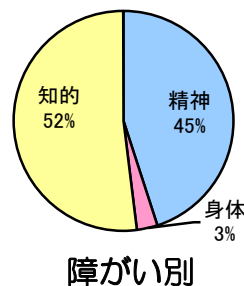
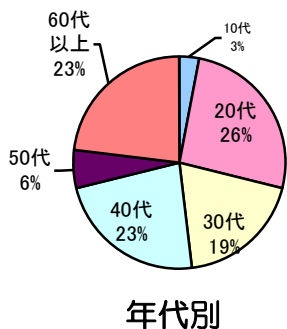
- ・障がい福祉サービスを利用している人の包括支援計画を作成する。

平成29年度実績

(1) 実施件数

実人数 308件 計画策定 140件 モニタリング 268件
 支援回数 1,020件（前年度 958件）

新規利用者の現状（実人数 31名）



計画策定のきっかけ（新規利用者）

内容	人数
仕事をしたい	10
生活援助	5
入院中	2
家族の死去や入院	3
セルフプランからの移行	12

修了者の状況（実人数 17 名）

理由	人数
就職	4
入院	3
本人の希望	7
介護保険への移行	1
転出	2

(2) 特徴

- 新規利用者 31 名のうち、セルフプランからの移行者が 12 名いた。
- 同居家族の死去や入院等で突然一人暮らしになる方が 3 名おり、自宅に訪問して生活状況の確認と関係者会議や個別支援会議を行い包括的な支援を行った。

対象者	年齢、性別、障害名	概要及び支援動機	関係機関	支援経過と現状
H 氏	40 代、男性、統合失調症	70 代母親と二人暮らし。母親が大腿骨骨折のため入院となった。これまで食事や家族等を母親の指示で行っていたため、一人暮らしの維持が困難となり、母親のケアマネージャーからぽぼろへ相談があった。	市町村福祉課 医療機関 (母親及び本人) 高齢者居宅介護事業所 ぽぼろ	支援経過: 早急な対応が必要だったためケアマネージャーと連携し、居宅介護サービスを開始。 現状: 母親は現在も入院中。本人は一人暮らしを継続。
N.A 氏	80 代、女性、知的障がい 糖尿病	3 人暮らし。遠方に住む一家の親戚が市町村窓口で相談し、介護保険課からぽぼろに相談があった。キーパーソンだった父親が逝去後、家事や金銭管理ができなくなった。数年間入浴しておらず、室内はゴミで生活空間がない。NB 氏は腰椎椎間板ヘルニア悪化のため歩行困難。NC 氏は時々暴力行為がある。	一家の親戚 市町村介護保険課 包括支援センター 医療機関 ぽぼろ	支援経過: 個別支援会議 2 回。引越しによる居住環境の整備。 N.A 氏: 介護保険で訪問介護を利用。 N.B 氏、N.C 氏: 各々居宅介護を利用。入浴と家事援助を開始。民間配食サービスを利用。(夕食) 金銭管理は親類が行う。 現状: 3 人暮らしを継続。
N.B 氏	50 代女性 うつ病			
N.C 氏	40 代、男性、知的障がい		介護保険及び障害福祉サービス利用申請を行う。	

(3) 事業効果

- 多問題世帯について福祉サービス提供事業所の他、医療機関や市町、社会福祉協議会など関係機関と支援チームを作り連携ができた。
- モニタリングを行った際に、利用者の作業や居住状況、担当者との関係者会議を行いサービス内容の見直しを行った。

○その他事業及び主な取り組み

【障がい支援区分認定調査】

(1) 実施件数 11件 依頼市町：赤平市、岩見沢市、伊達市、恵庭市

【精神障がい者家族支援事業】

(1) 実施状況

日 時	毎月第4木曜日 13:30~15:00
場 所	地域生活支援センター ぽぼろ
参加の状況	実人数：11名（うち新規2名） 障害名：発達障害7名、統合失調症3名 延人数：50名
内 容	学習会（広汎性発達障害について） 懇談会 交流食事会や作業をしながら懇親会

(2) 事業効果

- ・学習会では「ことばが丁寧すぎる」「友達をつくれぬ」など障がい特性によって起こる困りごとをテーマに話し合った。対処方法についてお互いに意見を出し合い理解を深めた。
- ・懇談会では参加者同士が「うちもそうだよ」と声をかけ相槌をうったり、「他人に話せないことを話せてうれしい」という声があり、家族の孤立感の軽減につながった。

【普及啓発事業】

- ・広報誌かわら版の発行（年4回）、パンフレットの配布、ポスターの作成を行っている。

【理解促進研修・啓発事業（砂川市委託事業）】

(1) 実施状況

開催日	研修名 開催場所	内 容
10/27	保健福祉フォーラム 砂川市 地域交流センターゆう	テーマ「聞いてなっとく！発達障害をよーく知ろう！」 ①基調講演 北海道医療大学心理科学部臨床心理学科准教授 金澤 潤一郎氏 ②パネルディスカッション テーマ「私が困ったこと、うまくいったことを語る」 ③販売 くるみ会

V. 共同生活援助どんぐり

事業目的

住宅を提供し、自立に向けた援助・支援を行うことで、障害者の地域生活を推進する。

施設 どんぐり (砂川市西4条北4丁目1-20) 定員6名
 かえりゃんせ (砂川市吉野1条南8丁目1-2) 定員6名
 かえりゃんせⅡ(砂川市吉野1条南8丁目1-3) 定員6名

職員 管理者(施設長) 常勤1名(兼務)
 サービス管理責任者 常勤1名(専従)
 看護師 非常勤1名(兼務)
 世話人(6:1) 常勤1名(専従)
 非常勤1名(専従)

※利用者6名に対して常勤換算で世話人1名を配置すること。

防災訓練

砂川市並びに砂川市消防本部からの指導・指示により、通所施設において規定されている防災管理マニュアルに従い、防火管理者を配置すると共に、事故発生の防止に努めることは勿論のこと、万が一の事故発生に備えて訓練を実施し、事故発生時に的確・迅速に対応できるよう年2回(9月・3月)の訓練を行った。尚、装置の点検については、定期で指定業者に於いて確認し報告を得ている。

平成29年度実績

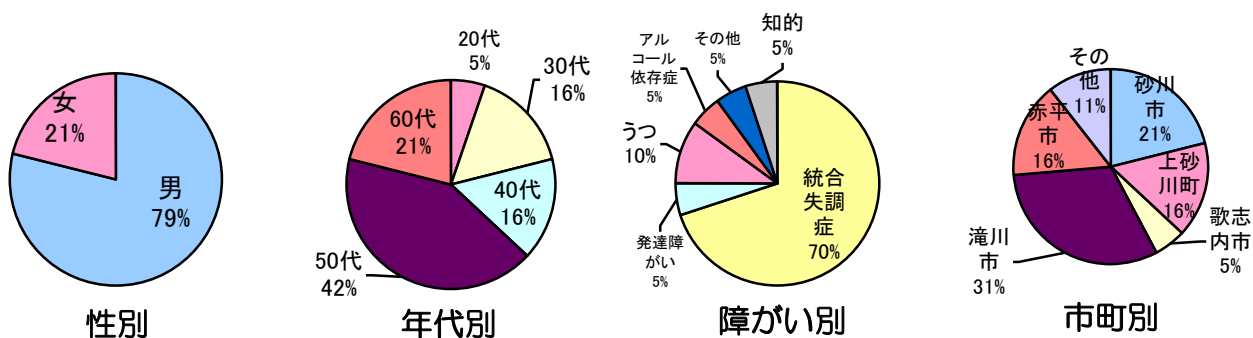
(1) 利用者数 実人数：19名 延人数：5,716名(+127名)
 1日平均利用者数：15.7名(+0.3名)

平成29年度グループホーム利用実績一覧

赤字：休職 ：入院 ：非契約及び退去

利用者	障害支援区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1	非該当	30	31	30	7		2	31	30	31	31	28	31	282
2	非該当	30	31	13	1	31	30	31	30	25				222
3	非該当	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
4	非該当	30	31	30	31	31	30	31	30	27	8	22	7	308
5	非該当	14	29	29	31	29	30	10						172
6	非該当	7	1	26	31	28	24	29	28	29	28	15	13	259
7	非該当								5	17	31	28	31	112
8	非該当	29	27	29	30	28	28	29	28	28	29	26	30	341
9	非該当	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
10	非該当	30	27	30	31	30	30	31	30	31	31	28	31	360
11	非該当	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
12	非該当	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
13	非該当	30	28	27	31	28	30	31	30	27	8	19	31	320
14	非該当	30	31	2			19	4			1	28	31	146
15	非該当	30	31	30	31	29	30	31	30	31	29	28	31	361
16	非該当	29	29	29	31	30	30	31	29	31	30	28	31	358
17	非該当	30	31	30	31	31	30	31	30	31	30	28	31	364
18	非該当	30	31	30	31	31	22	31	30	31	31	28	31	357
19	非該当		5	18	31	31	30	31	29	31	29	28	31	294
20														
利用実績合計		469	487	473	472	481	485	506	479	494	440	446	484	5716
利用実人数		17	18	18	17	16	18	18	17	17	17	17	17	19

(2) 利用者の状況



(3) 特徴

- 男女比率では、男性の利用者が多い。
- 年代は50代、60代が6割以上となっている。
- 統合失調症の利用者が7割を占めている。
- 砂川市外の利用者が多い。

(4) 事業内容・評価

- 自動火災報知器の設置 どんぐり、かえりゃんせ（5月末）、かえりゃんせⅡ（11月末）
- どんぐり、かえりゃんせの居室の防火カーペットの整備
- 地域生活移行支援で長年入院されていた方の入居対応
- 食生活の見直しのための健康講座（どんぐり）
- 入退院を繰り返す利用者がいつもの年より多かった。
- 約6割の利用者がくるみに通所している。